

Panasonic

マルチリモコンマイク

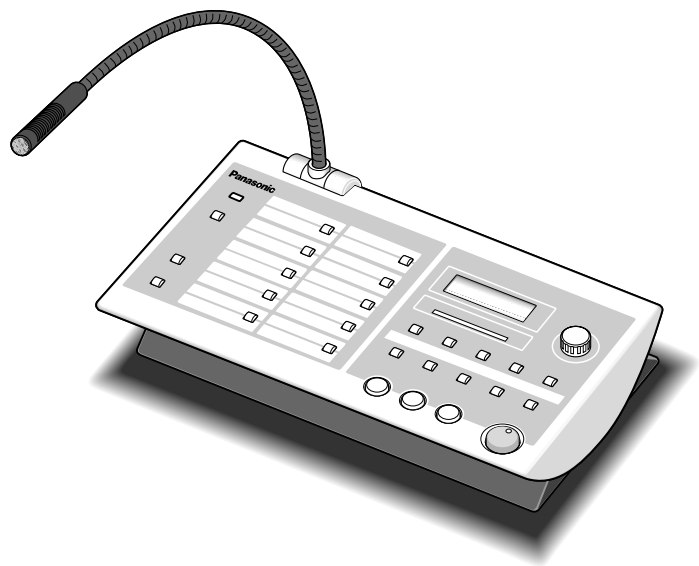
取扱説明書 工事説明付き

品番 **WR-600**

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、マルチリモコンマイクをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、デジタル業務放送専用のマルチリモコンマイクです。センターユニット WL-DK600（別売品）と接続することにより、アナウンス放送や各種設定を遠隔場所から行うことができます。

● 放送機能

放送したい場所を選択して放送することができます。

- ・通常の放送は、パネル面のボタンで行うことができます。
- ・本機の外部入力端子に、外部音源機器を接続すると、本機からBGM放送を行うことができます。
- ・コールサインは上り4音、下り4音の2種類を内蔵しています。

● 録音・再生機能

本機のマイクで收音した音声や、外部音源機器から入力した音声を、センターユニットの内部メモリー（拡張メモリー、内蔵メモリー）、PCカードに録音し、再生することができます。

- ・録音内容をプレビュー再生し、内蔵スピーカーで確認することができます。
- ・よく使うアナウンス放送などをライブラリー化して保存でき、簡単に再生（放送）することができます。
- ・一度放送した内容を、回数と間隔を設定して繰り返し放送する、リピート再生放送ができます。

● 放送状態モニター機能

- ・放送先の放送可否状態をパネル面の表示灯で、放送内容を内蔵スピーカーで確認することができます。
- ・アンプ内蔵の外部スピーカーを接続すると、内蔵スピーカーと同じ音声をモニターすることができます。

● その他の機能

本機の機能ボタン（5個）に、各種機能をショートカットキーとして割り付けることができます。設定は、全てセンターユニット側で行います。

付属品をご確認ください

束線バンド	3	取扱説明書（本書）.....	1
風防	1 (本体取付済み)	保証書	1

商標について

CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国San Disk社の商標です。

本書について

本書で使用している用語について

センターユニット : センターユニット WL-DK600（別売品）のことです。

外部音源機器 : 弊社製デジタルICレコーダー、BGM演奏装置などのことです。

本書で使用している記号について

: 本機前面にあるボタンを表しています。

液晶について

説明書中の画面と、実物の画面とでは表示方法が一部異なる場合があります。本書では、説明中の項目を明確にするため白抜き文字（反転表示）で表現しています。実物の画面では、点滅表示されます。

もくじ

商品概要	2	安全上のご注意	4
付属品をご確認ください	2	使用上のお願い	5
商標について	2	各部の名前と働き	6
本書について	2	本体操作部／前面／後面	6
<hr/>			
操作を始める前に	8	メインメニューの操作	17
電源投入時の動作	8	マイク音量の調節のしかた	17
基本操作	9	リピート再生	18
メインメニューによる操作	9	設定のしかた	18
メインメニューの表示と消去	10	リピート再生のしかた	18
メッセージに対する操作	10	ライブラリ再生	19
操作のしかた	11	録音データの消去	20
放送先の選択	11	故障と思われましたら	20
放送のしかた	12	エラーメッセージ一覧	20
簡易録音のしかた	13		
プレビュー再生のしかた	14		
簡易再生のしかた	15		
放送しながら簡易録音する	16		
<hr/>			
設置上のお願い	21	ユニット設定	33
各部の名前と働き	21	ユニット設定メニューの表示と消去	33
台座部	21	コールサイン音量の設定	34
設置のしかた	22	BGM音量の設定	34
据置型として使用する場合	22	放送状態モニター音量の設定	35
壁掛型として使用する場合	24	BGMミュート音量の設定	35
接続のしかた	26	BGMフェード時間の設定	36
接続ケーブルについて	26	液晶 (LCD) バックライトの設定	36
接続例	26	設定の初期化	37
ユニットアドレスについて	28	ユニット点検	38
設定のしかた	28	電源電圧のチェック	38
メンテナンスメニューについて	29	バージョン番号の表示	38
メンテナンスメニューの表示と消去	29	センターユニット側での設定	39
ライブラリ録音のしかた	30	設定の必要な項目	39
ライブラリ消去のしかた	32		
<hr/>			
メニュー遷移図	41	仕様	43
設定用紙	42	保証とアフターサービス	裏表紙
機能ボタン設定表	42		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源制御ユニットの電源を切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

壁取付時、質量に耐える 指定の方法で取り付ける



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となります。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源制御ユニットの電源を切り、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に 置かない



禁止

落下などでけがの原因となります。

機器の上に水などの 入った容器を置かない



水などが中に入った
場合、火災や感電の
原因となります。

水ぬれ禁止

- ただちに電源制御ユニットの電源を切り、販売店にご連絡ください。

使用上のお願い

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

使用温度範囲は

0℃から+45℃です。この温度範囲以外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、故障または誤動作の原因となります。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器前面をご覧ください。

本機を移動する場合は

- 必ず本体部と台座部が固定されていることを確認し、台座部を持ってください。固定されていないと、落下などで故障の原因となります。
- フレキシブルマイク部を持って移動しないでください。故障の原因となります。

お手入れについて

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。

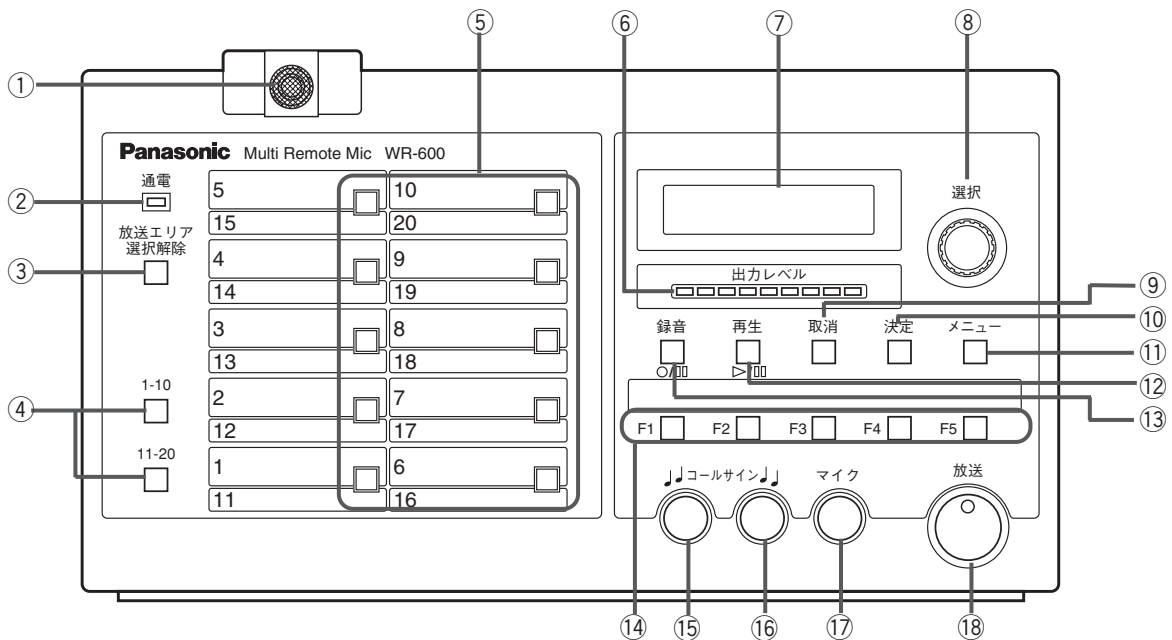
ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。

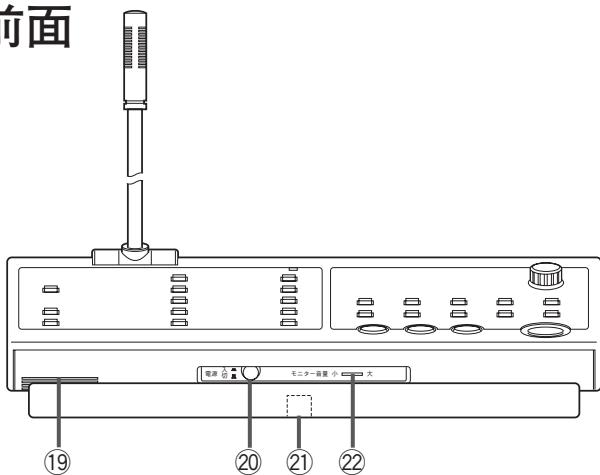
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部の名前と働き

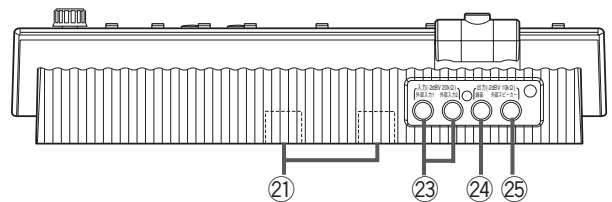
本体操作部



前面



後面



① フレキシブルマイク

マイクの方角を変えることができます。
風防（付属品）をつけてご使用ください。

② 通電表示 [通電]

本機に電源が供給されているとき緑色に点灯します。

③ 解除ボタン [放送エリア選択解除]

放送エリアボタン⑤で選択されている全ての放送エリアを解除することができます。

④ 放送エリア切換ボタン／表示灯 [1-10 11-20]

放送エリアボタン⑤のエリア（1-10、11-20）を切り換えます。

[1-10] 緑点灯：放送エリアボタン⑤の1-10を選択。

[11-20] 緑点灯：放送エリアボタン⑤の11-20を選択。

⑤ 放送エリアボタン／表示灯 [1-20]

放送先のエリア（1-20）を選択します。選択されたボタンは、緑色または橙色に点灯します。

緑色：放送可能。

橙色：選択したエリア全てが放送不可。本機より優先順位の高い放送が行われています。

※放送先（1-20）は、センターユニット側で割り当てられていないと、押しでも選択できません。

- ⑥ **レベルメーター [出力レベル]**
本機が出力する音声レベルを表示します。緑色と橙色が点灯し、赤色が点灯しない状態が適正レベルの目安です。
- ⑦ **液晶表示部 (LCD)**
放送エリア、操作内容またはメッセージが表示されます。
- ⑧ **選択ダイヤル [選択]**
左右に回して設定項目を選択できます。選択ダイヤルを押すと、カーソルを移動することができます。
- ⑨ **取消ボタン [取消]**
液晶に表示されている内容を取り消す場合に押します。
- ⑩ **決定ボタン [決定]**
液晶に表示されている内容を選択、決定する場合に押します。
- ⑪ **メニューボタン [メニュー]**
液晶の機能を選択する際に押します。
- ⑫ **再生ボタン/表示灯 [再生 ▷/■]**
録音された音声を再生します。再生中は点灯します。
- ⑬ **録音ボタン/表示灯 [録音 ○/■]**
本機とセンターユニットで録音をする場合に使用します。録音中は点灯します。
- ⑭ **機能ボタン [F1,F2,F3,F4,F5]**
各ボタンに割り当てられている機能を実行するときに押します。各ボタンの機能はセンターユニット側で割り当てます (☞39ページ参照)。
(例) ・制御出力・出力音量の制御
・アナウンス内容の呼び出し
・内蔵スピーカーでの音声モニター機能 ON/OFF
- ⑮ **コールサイン上りボタン/表示灯 [コールサイン↑]**
このボタンを押すと、上り4音のコールサインが流れます。コールサインが流れている間、このボタンは緑色に点滅します。
- ⑯ **コールサイン下りボタン/表示灯 [コールサイン↓]**
このボタンを押すと、下り4音のコールサインが流れます。コールサインが流れている間、このボタンは緑色に点滅します。
- ⑰ **マイクボタン/表示灯 [マイク]**
マイクをONにします。アナウンス放送をするときはこのボタンをONにします。マイクがONのときは緑色に点灯します。
- ⑱ **放送ボタン/表示灯 [放送]**
押すと、放送を行うことができます。放送中は緑色に点灯します。
- ⑲ **内蔵スピーカー**
●本機が放送している内容を聞くことができます。
●本システムのモニター機能を使って、現在選択しているエリアの放送内容を聞くことができます。(機能ボタンの設定が必要で☞39ページ参照)
- ⑳ **電源スイッチ [電源 入 ■ / 切 ■]**
●本機の電源をON/OFFするボタンです。押すと「ON」、戻すと「OFF」です。押すと通電表示が点灯します。
●電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、電源制御ユニットの電源を切ってください。
- ㉑ **通線用孔**
線材を通します。
- ㉒ **内蔵スピーカー音量調節つまみ [モニター音量 小/大]**
内蔵スピーカーの音量を調節します。右に回すと音量が大きくなります。音声を出したくない場合は、左に回しきってご使用ください。
- ㉓ **外部音声入力端子**
[入力 (-2 dBV 20 kΩ) 外部入力1,外部入力2]
BGMなどの外部音源機器を接続します。2系統ありますが、本機内部でモノラルにミックスされます。放送中は、この端子に入力される音声も放送されます。マイクがONになっているときには、自動的に音量を下げる機能もあります (BGMミューズ☞35ページ参照)。
- ㉔ **録音出力端子 [出力 (-2 dBV 10 kΩ) 録音]**
外部音源機器に接続します。本機の音声を放送ボタンによって設定されている放送状態に関係なく出力することができます。
- ㉕ **外部スピーカー出力端子**
[出力 (-2 dBV 10 kΩ) 外部スピーカー]
外部にスピーカーを接続できます。ラインレベルでの出力のため、アンプ内蔵型のスピーカーを接続してください。内蔵スピーカーと同じ音声が出力されます。

操作を始める前に

電源投入時の動作

本機は、電源投入時に初期化を行い、システムの状態をチェックします。チェック後、異常がなければ液晶にエリア選択画面が表示されます。

1 電源スイッチを押す。

- 通電表示が点灯します。
- 電源投入時起動画面が表示され（"***"が左から右にスクロールします）、起動完了画面（約2秒）が表示されたあと、エリア選択画面が表示されます。エリア選択画面は、放送エリアが選択されている場合、そのエリアの番号が表示されます。何も選択されていない場合は、無表示となります。



図 電源投入時起動画面

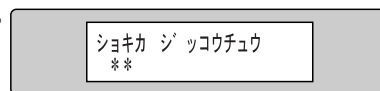
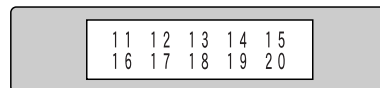


図 起動画面（起動完了）



↓ (約2秒後に自動遷移)

図 エリア選択画面



基本操作

本機は、操作パネル部のボタンで基本操作をすることができます。

項目	概要
放送先を選択する	放送先を、あらかじめ複数の放送エリアボタンに登録し、ブロック別(20ブロックまで対応)に選択できます (☞11ページ)。
放送する	放送したい場所を、ブロック別呼び出して、本機マイクから一括放送できます (☞12ページ)。
簡易録音する	センターユニットの内部メモリー(拡張メモリー、内蔵メモリー)に、一時的に音声を保存できます (☞13ページ)。
プレビュー再生する	録音された音声を再生し、放送せずに本機内蔵スピーカーで確認できます (☞14ページ)。
簡易再生する	簡易録音した内容を再生し、放送できます (☞15ページ)。
放送しながら簡易録音する	放送内容を同時に録音しておくことができます (☞16ページ)。

メインメニューによる操作

液晶にメインメニューを表示し、つぎの操作を行うことができます。

項目	概要
マイク音量の調節	マイクの音量を調節できます (☞17ページ)。
リピート再生する	センターユニット側で本機の機能ボタンに機能を割り付けることにより、録音されている内容を設定した通りに繰り返し放送できます (☞18ページ)。
ライブラリ再生する	センターユニットのメモリー(拡張メモリー、PCカード)に、保存されている音声を再生できます (☞19ページ)。
録音データを消去する	簡易録音されている内容を消去できます (☞20ページ)。
メンテナンス	本機の設定を行います。(販売店にご依頼ください) (☞29ページ)。

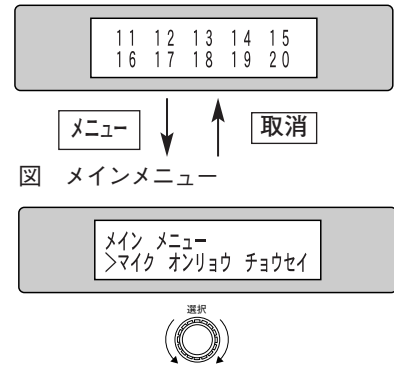
操作を始める前に

メインメニューの表示と消去

本機は、液晶に表示されるメインメニューで操作の設定を行います。

- 1 メインメニューによる操作を開始するときは、**メニュー**を押す。
メインメニューが表示されます。
上段にメインメニュー、下段に設定項目が表示されます。
選択ダイヤルを回すたびに、メニューが変わります。
↑ 「マイク オンリョウ チョウセイ」(☞17ページ参照)
↑ 「リピート サイセイ セツテイ」(☞18ページ参照)
↑ 「ライブラリ サイセイ」(☞19ページ参照)
↑ 「ロクオン データ ショウキョ」(☞20ページ参照)
↓ 「メンテナンス」(☞29ページ参照)

図 エリア選択画面



- 2 メインメニューによる操作を終了するときは、エリア選択画面が表示されるまで**取消**を押す。

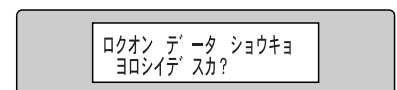
メッセージに対する操作

操作を行うと、本機は、液晶にメッセージを表示することがあります。メッセージには、確認を求める確認メッセージと、処理結果を示す結果メッセージがあります。

▶ 確認メッセージ

確認メッセージは、何か処理を行ったときに、実行してよいか問い合わせを行うためのメッセージです。確認メッセージの例を右に示します。確認メッセージが表示されたときは、以下のように操作します。
処理を続行するときは、**決定**を押します。
前画面に戻るときは、**取消**を押します。

図 確認メッセージ例



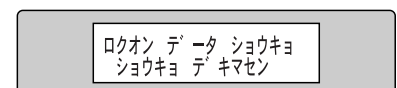
▶ 結果メッセージ

結果メッセージには、エラーメッセージと処理終了メッセージがあります。

● エラーメッセージ

エラーメッセージは実行内容に誤りがあった場合に表示されます。エラーメッセージが表示されたときは、**取消**を押してください。押さない場合は自動的に画面が遷移します(遷移する画面は操作内容によって異なります)。

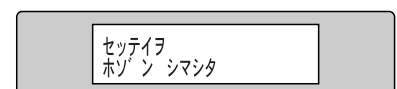
図 エラーメッセージ例



● 処理終了メッセージ

処理終了メッセージは処理の終了をお知らせします。なお、処理終了メッセージは自動的に画面が遷移します(遷移する画面は操作内容によって異なります)。

図 処理終了メッセージ例



操作のしかた

放送先の選択

本機からの放送先を選択します。放送エリアは、センターユニット側で設定します。

準備しておくこと 放送エリアボタンの右横欄に、ラベルなど（別途ご用意）で放送先を表示してください。

推奨：ラベル高さ9 mm

ここでは、放送先2,3,6,10,11,13,19を例に説明します。

1 放送エリア切換ボタン **1-10** を押す。

1-10 が点灯します。

2 放送エリアボタン **2**、**3**、**6**、**10** を押す。

選択したボタンが点灯し、放送エリア2,3,6,10が選択されます。

3 放送エリア切換ボタン **11-20** を押す。

11-20 が点灯します。

このとき液晶には、放送エリア1~10のうち、手順2で選択されたエリアの番号が表示されます。

4 放送エリアボタン **11**、**13**、**19** を押す。

選択したボタンが点灯し、放送エリア11,13,19が選択されます。

▶ 再度、エリア切換ボタン **1-10** を押すと、液晶は右画面に切り換わります。

放送先について

- 放送エリアボタンが橙色に点灯している放送先は、本機より優先順位の高い放送が行われており、本機からは放送できません。
- センターユニット側で割り当てられていないと、放送エリアボタンを押しても選択できません。

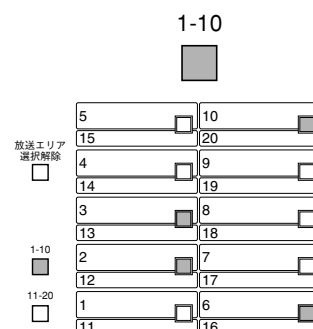
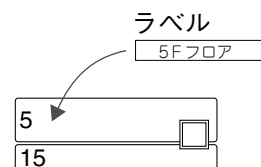


図 エリア選択画面

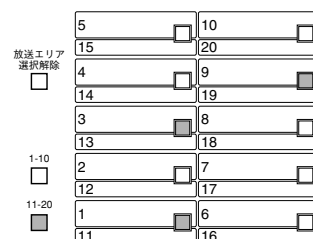
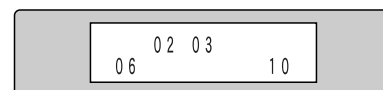
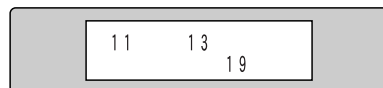


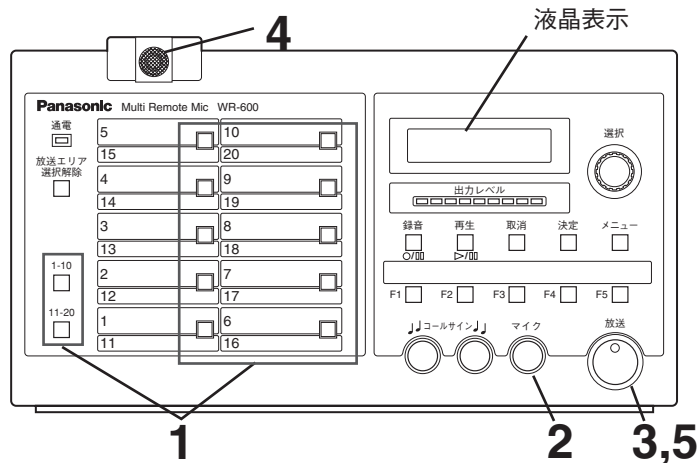
図 エリア選択画面



操作のしかた

放送のしかた

マイクによるアナウンス放送を例に手順を示します。



1 放送先を選択する (☞11ページ)。

2 マイクボタンを押す。
マイクボタンが点灯します。

3 放送ボタンを押す。
放送ボタンが点灯します。コールサイン上りボタンが点滅し、自動的にコールサイン上りが放送されます。コールサインは内蔵スピーカー、外部スピーカーでモニターできます。

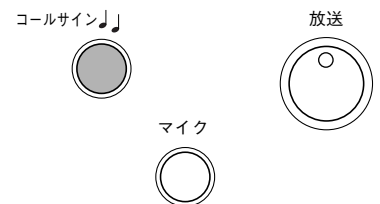
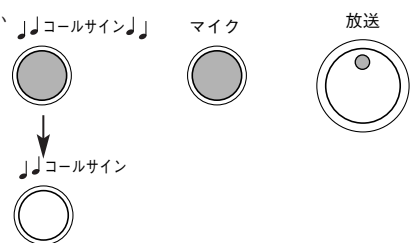
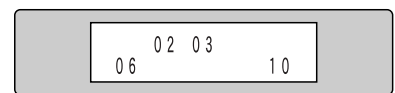
4 コールサインボタンの点滅終了後、マイクに向かって放送する。
選択されている放送先にアナウンスが流れます。

▶ 音量の調節は、☞17ページ。

5 再度、放送ボタンを押して放送を終了する。
コールサイン下りボタンが点滅し、自動的にコールサイン下りが放送された後消灯し、放送がOFFになります。
放送ボタンは消灯します。

6 再度、マイクボタンを押す。
マイクボタンが消灯します。

図 エリア選択画面



ご注意

簡易再生放送中およびライブラリ再生放送中は、マイクから放送することはできません。

コールサインについて

工場出荷状態では、放送ボタンを押すと自動的にコールサインが流れるように設定されています。

- コールサインを自動的に流さない設定や、センターユニット内蔵のオリジナルコールサインを流す設定にすることもできます (☞40ページ)。
- センターユニット内蔵のオリジナルコールサインの設定が、本機以外のマルチリモコンマイクにも行われている場合、そのマルチリモコンマイクからコールサイン放送または再生放送している間は、放送ボタンを押してもコールサインは放送されません。

マイクボタン・ 放送ボタンについて

工場出荷状態では、押すたびにON/OFFが切り換わりますが、押している間だけ「ON」にする設定も可能です (☞40ページ)。本機が複数台接続されている場合は、全て同じ設定内容になります。

簡易録音のしかた

本機のマイクで収録した音声や、外部音源機器から入力した放送内容を、センターユニットの内部メモリーに録音しておくことができます。録音内容は1件のみで、最新の内容に上書きされます。

- ・内蔵メモリー：センターユニット内蔵のメモリーに録音されます。録音時間は約5秒です。
拡張メモリーカードが装着されていないとき本メモリーに自動的に録音されます。
- ・拡張メモリー：センターユニット内部に増設したコンパクトフラッシュカードに録音されます。
録音時間は1MBあたり約10秒です（メモリー容量により異なります）。

- 1 **マイクボタンを押す。**
マイクボタンが点灯します。
▶ 音量の調節は、 17ページ。
- 2 **録音** を押す。
液晶に「ポーズ」と表示され、**録音** が点滅します。
約3分間無操作の場合は、エリア選択画面に戻ります。
- 3 再度、**録音** を押して録音を開始する。
録音 が点灯し、液晶には録音の残り時間が表示されます。
マイクに向かって、アナウンスを吹き込みます。または、外部音源機器を操作します。
▶ **録音** を押すと、録音準備中画面が表示され、数秒後（録音されるメモリーにより異なります）に、録音が始まります。
 - ・内蔵メモリー（拡張メモリー未装着時）：約8秒後
 - ・拡張メモリー（拡張メモリー装着時）：約3秒後
▶ **録音時間が超過したとき**
メッセージが表示されます。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、「ポーズ」画面に戻ります。

▶ **録音内容を確認するとき**
再生 を押す（再生については 14ページ）と、録音内容が再生されます。録音し直す場合は、手順3に戻ります。
- 4 再度、**録音** を押して録音を終了する。
録音 が点滅し、終了処理画面表示後、録音待機画面に戻ります。
- 5 **取消** を押す。
エリア選択画面に戻ります。

図 エリア選択画面

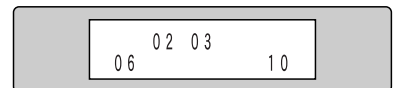


図 録音待機画面

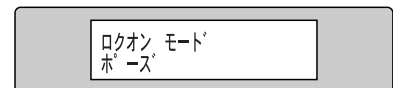


図 録音準備中画面

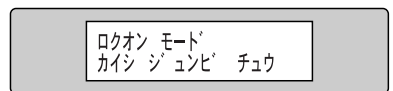


図 録音画面

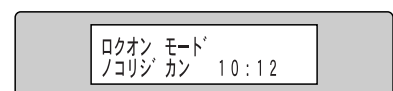


図 録音時間超過メッセージ

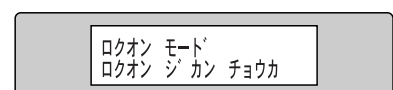


図 再生待機画面

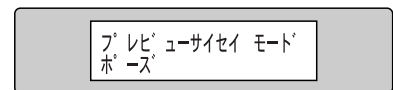


図 終了処理画面

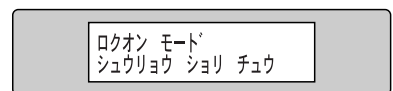
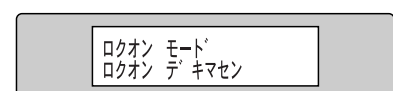


図 エラーメッセージ



録音できないとき

メッセージ「ロクオン デキマセン」が表示された場合は、下記のことが考えられます。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、前の画面に戻ります。

- センターユニット側か他のマルチリモコンマイクが、「録音中」または「プレビュー再生中」です。時間を空けてから行ってください。
- センターユニット側の内部メモリーが不足しています。不要なファイルを削除するか、メモリー容量を増やしてください。

操作のしかた

プレビュー再生のしかた

録音された内容をプレビュー再生し、本機内蔵スピーカーで確認できます。

1 [再生] を押す。

液晶に「ポーズ」と表示され、[再生] が点滅します。
約3分間無操作の場合は、エリア選択画面に戻ります。

2 再度、[再生] を押す。

[再生] が点灯し、録音内容が内蔵スピーカーから再生され、
液晶には再生時間が表示されます。
再生終了後、[再生] が点滅し、再生待機画面に戻ります。

- ▶ モニター音量が絞られていると聞こえません。前面の内蔵スピーカー音量調節つまみで調節してください。
- ▶ 外部スピーカーを接続している場合は、外部スピーカーから再生音が聞こえます。

▶ 再生中に再生を取り消すとき

[再生] を押すと、再生待機画面に戻ります。

3 [取消] を押す。

[再生] が消灯し、エリア選択画面に戻ります。

再生できないとき

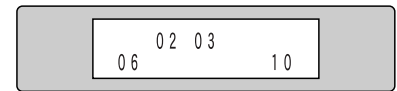
メッセージ「サイセイ デキマセン」が表示された場合は、
下記のことが考えられます。[取消] を押すか、約10秒間
無操作の場合は、前の画面に戻ります。

- センターユニット側の設定で、リモコンモニター機能が「OFF」になっている場合です。
「ON」にする必要があります (☞39ページ)。
- センターユニット側か他のマルチリモコンマイクが、「録音中」または「プレビュー再生中」
です。時間を空けてから行ってください。
- センターユニット側の内部メモリーにファイルが見つかりません。再度録音してください。

ライブラリ内容を プレビュー再生する とき

ライブラリ再生 (☞19ページ) で放送ボタンを押さない (手順6,10を省略する) と、内蔵スピー
カーからライブラリ内容が再生されます。

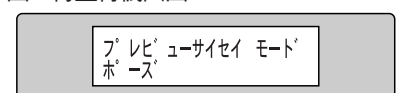
図 エリア選択画面



[再生]

[取消]

図 再生待機画面



[再生]

図 再生画面

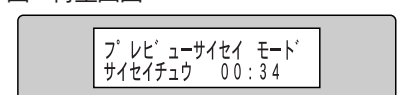
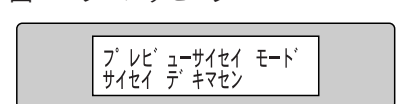


図 エラーメッセージ



簡易再生のしかた

簡易録音された内容を読み出して再生し、放送します。

- 1 放送先を選択する (P.11ページ)。
- 2 放送ボタンを押す。
放送ボタンが点灯します。コールサイン上りボタンが点滅し、自動的にコールサイン上りが放送されます。
- 3 コールサインボタンの点滅終了後、**再生**を押す。
液晶に「ポーズ」と表示され、**再生**が点滅します。
約3分間無操作の場合は、エリア選択画面に戻ります。
- 4 再度、**再生**を押す。
再生が点灯し、選択されているエリアに録音内容が放送され、液晶には再生時間が表示されます。
再生終了後、**再生**が点滅し、再生待機画面に戻ります。
- 5 **取消**を押す。
再生が消灯し、エリア選択画面に戻ります。
- 6 再度、放送ボタンを押して放送を終了する。
コールサイン下りボタンが点滅し、自動的にコールサイン下りが放送された後消灯し、放送がOFFになります。
放送ボタンは消灯します。

図 エリア選択画面

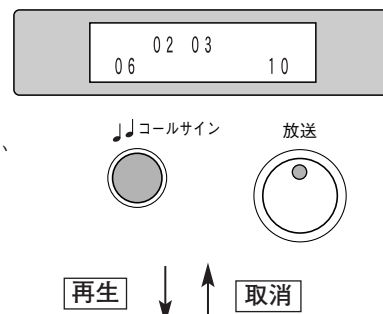


図 再生待機画面

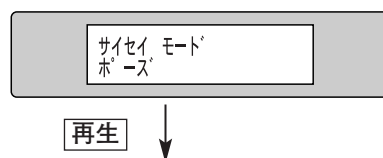


図 再生画面

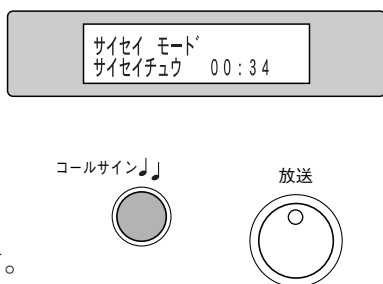
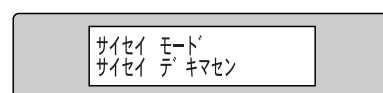


図 エラーメッセージ



再生できないとき

メッセージ「サイセイ デキマセン」が表示された場合は、下記のことが考えられます。**取消**を押すか、約10秒間無操作の場合は、前の画面に戻ります。

- 他のマルチリモコンマイクが、「再生中」です。時間を空けてから行ってください。
- センターユニット側の内部メモリーにファイルが見つかりません。再度録音してください。

操作のしかた

放送しながら簡易録音する

マイクによるアナウンスの簡易録音を例に説明します。外部入力からの音声も、同様に録音できます。

- 1 放送先を選択する (P.11ページ)。
- 2 マイクボタンを押す。
マイクボタンが点灯します。
▶ 音量の調節は、P.17ページ。
- 3 放送ボタンを押す。
放送ボタンが点灯します。コールサイン上りボタンが点滅し、自動的にコールサイン上りが放送されます。
- 4 コールサインボタン点滅終了後、**録音**を押す。
液晶に「ポーズ」と表示され、**録音**が点滅します。
- 5 再度、**録音**を押して録音を開始する。
録音が点灯し、液晶には録音の残り時間が表示されます。マイクに向かって、アナウンスを吹き込みます。または、外部音源機器を操作します。選択されているエリアに放送されます。
▶ 録音時間が超過したとき
メッセージが表示されます。**取消**を押すか、約10秒間無操作の場合は、「ポーズ」画面に戻りますが、放送は継続されています。
- 6 再度、**録音**を押す。
録音が点滅し、終了処理画面表示後、録音待機画面に戻ります。
- 7 **取消**を押す。
エリア選択画面に戻ります。
- 8 再度、放送ボタンを押して放送を終了する。
コールサイン下りボタンが点滅し、自動的にコールサイン下りが放送された後消灯し、放送がOFFになります。放送ボタンは消灯します。
- 9 マイクボタンを押す。
マイクボタンが消灯します。

図 エリア選択画面

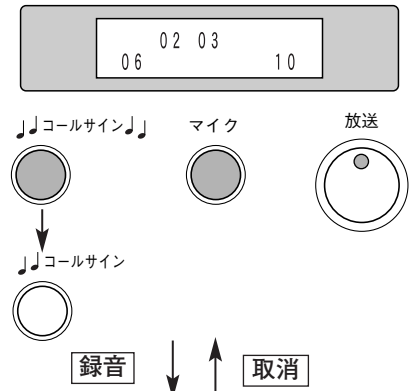


図 録音待機画面

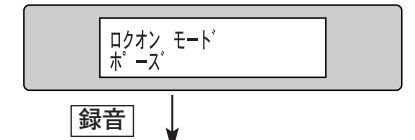


図 録音準備中画面

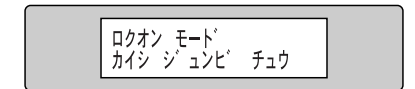


図 録音画面

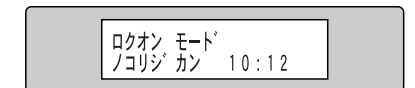


図 録音時間超過メッセージ

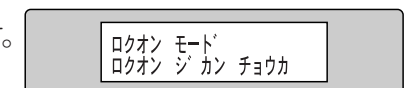
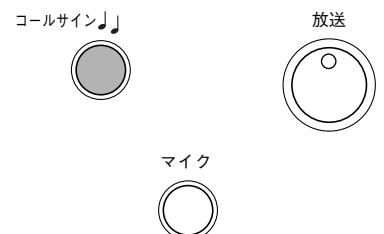
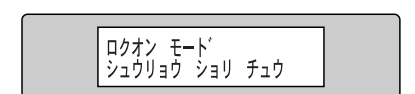


図 終了処理画面

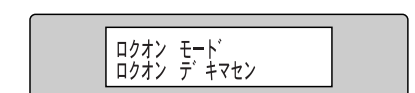


録音できないとき

メッセージ「ロクオン デキマセン」が表示された場合は、下記のことが考えられます。**取消**を押すか、約10秒間無操作の場合は、前の画面に戻ります。

- センターユニット側か他のマルチリモコンマイクが、「録音中」または「プレビュー再生中」です。時間を空けてから行ってください。
- センターユニット側の内部メモリーが不足しています。不要なファイルを削除するか、メモリー容量を増やしてください。

図 エラーメッセージ



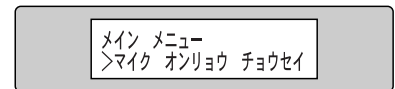
メインメニューの操作

マイク音量の調節のしかた

マイクの音量を調節できます。放送しながら、調節することができます。

音量：0～10段階（1段階単位）（工場出荷時設定：音量バー4点灯）

- 1 **メニュー** を押し、メインメニュー「マイク オンリ ヨウ チョウセイ」を表示する。



- 2 **決定** を押す。
マイク音量調節画面が表示されます。



図 マイク音量調節画面

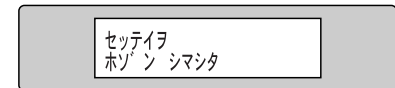


- 3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。



図 処理終了メッセージ

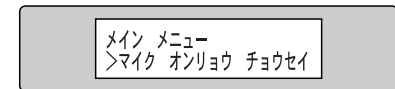
- 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、メインメニューに戻ります。



↓（約2秒後に遷移）

図 メインメニュー

- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。



メインメニューの操作

リピート再生

センターユニット側で本機の機能ボタンにリピート再生機能を割り付けること（ON/OFF）により、再生内容を設定した通りに繰り返し放送します（※39ページ）。リピート再生の回数と間隔（分）は、本機側で設定します。

回数：1～99回（1回単位）（工場出荷時設定：3回）
間隔（分）：1～60分（1分単位）（工場出荷時設定：5分）

設定のしかた

- 1 **メニュー** を押し、メインメニューを表示する。
 - 2 選択ダイヤルを回し、「リピートサイセイセッテイ」を表示する。
 - 3 **決定** を押す。
リピート再生設定画面が表示されます。
 - 4 選択ダイヤルを回し、リピート回数を選択する。
選択ダイヤルを押してカーソルを移動し、続けてリピート間隔を選択します。
必ず再生内容の時間よりも長く設定してください。
再生時間よりも設定間隔が短いと、次の再生時間にかかる形になり、その分再生回数が減ります。
 - 5 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、メインメニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。

リピート再生の間隔
について

図 メインメニュー

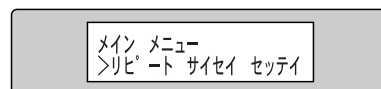
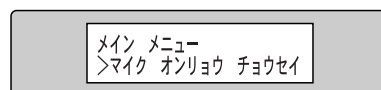


図 リピート再生設定画面

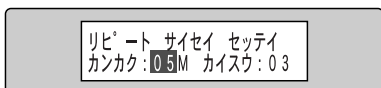
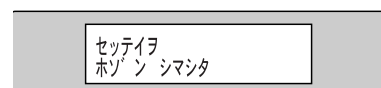
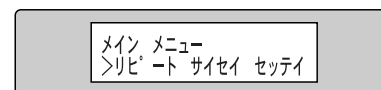


図 処理終了メッセージ



（約2秒後に遷移）

図 メインメニュー



リピート再生のしかた

- 1 リピート再生を割り付けた機能ボタン **F** を押す。
 - 2 再生（※15ページ手順1～4）またはライブラリ再生（※19ページ手順1～8）にする。
再生内容が、自動的にリピート再生されます。
放送ボタン点灯→コールサイン上り放送
→再生（設定した回数分リピート再生）
→コールサイン下り放送→放送ボタン消灯
- ▶
- リピート再生中の待機間隔の間は、リピート再生待機画面が表示されます。
 - リピート再生が終了すると、エリア選択画面に戻ります。

図 再生画面

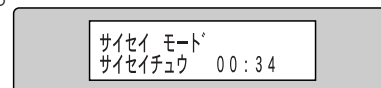


図 リピート再生画面

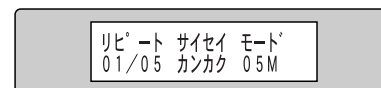
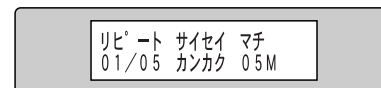


図 リピート再生待機画面



※再生状態にしてから、リピート再生を割り付けた機能ボタン **F** を押しても、同様にリピート再生できます。その際、放送は自動的に実行されます。

ライブラリ再生

センターユニット側に保存されているライブラリの内容を、選択して再生します。また、機能ボタンにあらかじめ割り付けて再生できます (※39ページ)。液晶には、前回再生したファイル保存先と音源ファイル名が表示されます。

ファイル保存先 ・ ナイフ：センターユニット 拡張メモリー (装着時のみ)
 ・ カード：センターユニット PCカード (装着時のみ)

- 1 放送先を選択する (※11ページ)。
 - 2 **メニュー** を押し、メインメニューを表示する。
 - 3 選択ダイヤルを回し、「ライブラリ サイセイ」を表示する。
 - 4 **決定** を押す。
ライブラリ再生選択画面が表示されます。
 - 5 選択ダイヤルを回し、ファイル保存元を選択する。
決定 を押してカーソルを移動し、続けて音源ファイルを選択します。
 - 6 放送ボタンを押す。
放送ボタンが点灯します。コールサイン上りボタンが点滅し、自動的にコールサイン上りが放送されます。
 - 7 コールサインボタン点滅終了後、**決定** を押す。
液晶に「ポーズ」と表示され、**再生** が点滅します。
約3分間無操作の場合は、エリア選択画面に戻ります。
 - 8 **再生** を押す。
再生 が点灯し、選択されているエリアにライブラリ内容が再生され、液晶には再生時間が表示されます。
再生終了後、**再生** が点滅し、再生待機画面に戻ります。
 - 9 **取消** を押す。
再生 が消灯し、エリア選択画面に戻ります。
※非放送中は、ライブラリ再生選択画面に戻ります。
 - 10 再度、放送ボタンを押して放送を終了する。
コールサイン下りボタンが点滅し、自動的にコールサイン下りが放送された後消灯し、放送がOFFになります。放送ボタンは消灯します。
- ▶ 機能ボタンにライブラリ再生を割り付けた場合
 エリア選択画面で、ライブラリ再生を割り付けた機能ボタン **F** を押して、**再生** を押すと、再生されます。

図 メインメニュー

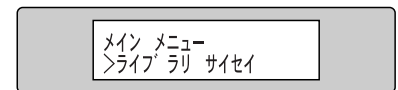
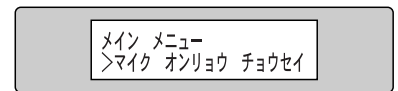


図 ライブラリ再生選択画面



図 再生待機画面

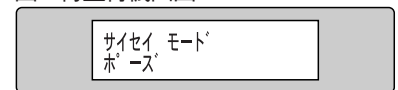
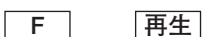
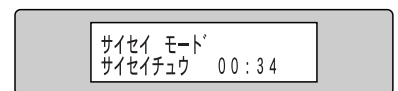


図 再生画面



プレビュー再生するとき

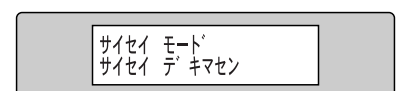
ライブラリ内容を本機内蔵スピーカーで確認する場合は、放送ボタンを押さず (手順6,10) に、上記再生操作を行ってください。

再生できないとき

メッセージ「サイセイ デキマセン」が表示された場合は、下記のことが考えられます。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、前の画面に戻ります。

- 他のマルチリモコンマイクが、「再生中」です。時間を空けてから行ってください。

図 エラーメッセージ



メインメニューの操作

録音データの消去

簡易録音されている内容を消去します。

▶ 放送中は消去できません。

- 1 **メニュー** を押し、メインメニューを表示する。
 - 2 選択ダイヤルを回し、「ロクオン データ ショウキョ」を表示する。
 - 3 **決定** を押す。
録音データ消去確認画面が表示されます。
 - 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、メインメニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、消去されません。

消去できないとき 放送中にこの操作を行った場合は、メッセージ「ショウキョ デキマセン」が表示され、消去できません。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、メインメニューに戻ります。

図 メインメニュー

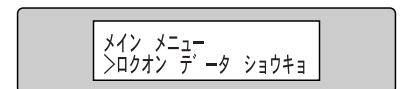
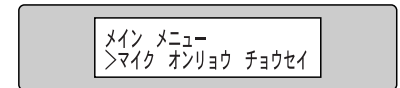


図 録音データ消去確認画面

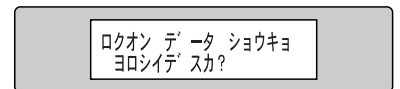
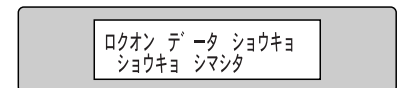


図 処理終了メッセージ



↓ (約2秒後に遷移)

図 メインメニュー

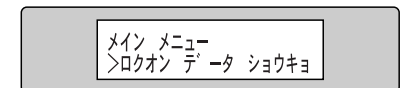
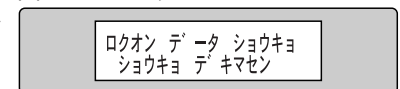


図 エラーメッセージ



故障と思われましたら

下表を確認し、それでも直らないときは電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

症状	確認項目	処置
電源が入らない	本機に電源を供給する機器（電源制御ユニット、センターユニット）の電源は入っていますか？	電源を供給する機器の電源を入れます。
コールサインが鳴らない、放送ができない	コールサインはセンターユニット内蔵のオリジナルコールサインですか？画面に「サイセイデキマセン」と、表示されていませんか？	他のマルチリモコンマイクから放送中ですので、その放送が終了してから放送します。

エラーメッセージ一覧

メッセージ	処置
エラーハッセイ 01 <EEPROM エラー>	販売店にご連絡ください。
エラーハッセイ 02 <ハード エラー>	販売店にご連絡ください。
シバラク オマチクダサイ キエタラ ソウサ シテクダサイ	しばらく待つか、 取消 を押して、このメッセージが消えてから再度操作してください。

工事説明



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、本機に電源を供給する電源制御ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

設置上のお願い

●設置場所について

- 直射日光のあたるところや温風吹き出し口の近くは避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどから、できるだけ離してください。誘導ノイズを受ける恐れがあります。
- 電波受信機（ラジオやテレビ、ワイヤレスマイクの受信機）の近くで使用すると、電波受信機側で雑音や誤動作の原因となることがあります。本機と電波受信機はできるだけ離してご使用ください。

●壁取付について

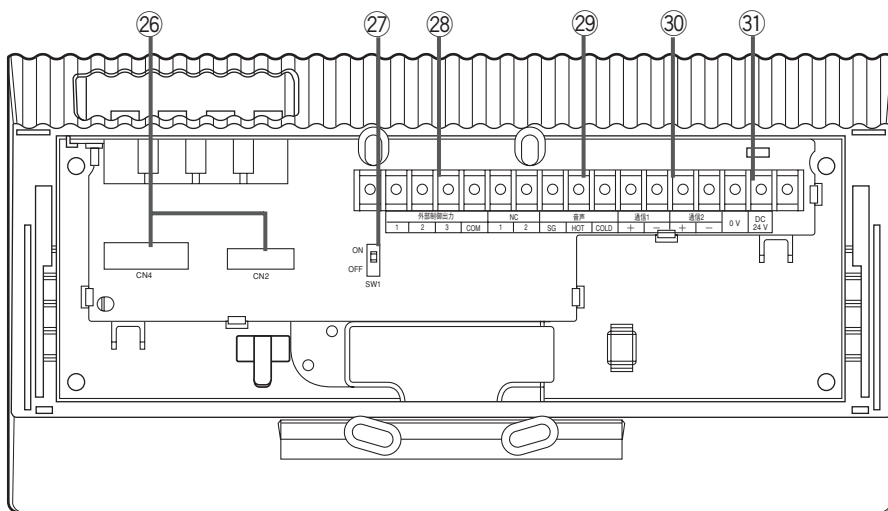
- モルタル壁へのねじによる直取付はしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。

●ケーブルについて

- 接続のしかた（※26ページ）に記載されているケーブルをご使用ください。
- 本機の底部にはケーブルクランプが取り付けられています。付属の束線バンドでケーブルを束ねるときにご使用ください。

各部の名前と働き

台座部



②⑥ 本体操作部接続端子 [CN2、CN4]

本体操作部背面からの接続コネクタを接続します。

②⑦ RS-485終端スイッチ [通信終端 OFF ON]

RS-485の終端設定を行います。

②⑧ 外部制御出力接続端子 [外部制御出力1、2、3、COM]

この端子から外部機器をメイクすることができ、1～3の3系統を制御できます。制御するには、センターユニットで本機の機能ボタンのいずれかに

外部制御機能を設定する必要があります（※37センターユニットの設定支援ソフトで行います）。

②⑨ 音声接続端子 [音声 SG、HOT、COLD]

音声回線を接続します。

③⑩ 通信接続端子 [通信1 +/－、通信2 +/－]

RS-485の通信線を接続します。

③⑪ 電源接続端子 [DC 24 V、0 V]

DC 24 Vを接続します。

設置のしかた

本機は、据置型（P.22ページ）、壁掛型（P.24ページ）として設置できます。
ラックに取り付けて使用する場合は、別途ラック取付金具（現地調達）をご用意ください。

据置型として使用する場合

本機を卓上に置いて使用する場合は、以下の手順で設置してください。

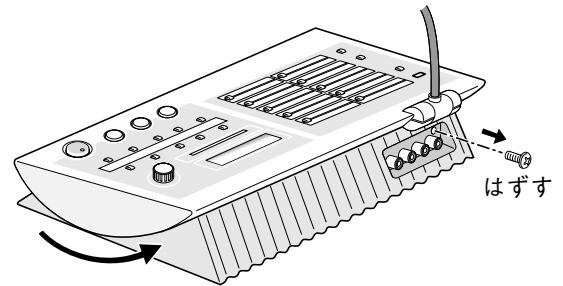


警告

必ず電源を切ってから行ってください。

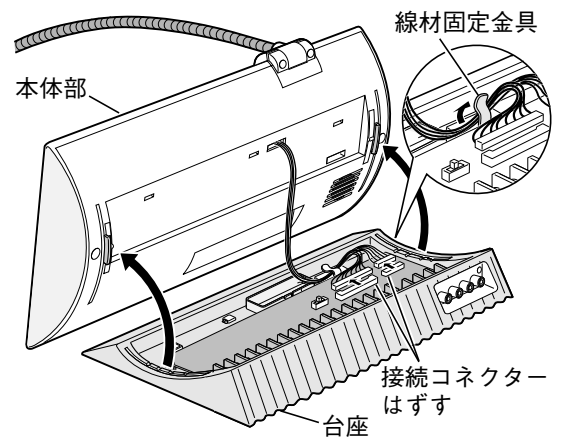
本機に電源を供給する機器（電源制御ユニット、センターユニット）からの電源を遮断した状態で行ってください。電源が入った状態で行うと、感電または機器を破損する原因となります。

- 1 本機背面のねじを外して、本体部を矢印の方向一杯にスライドさせる。

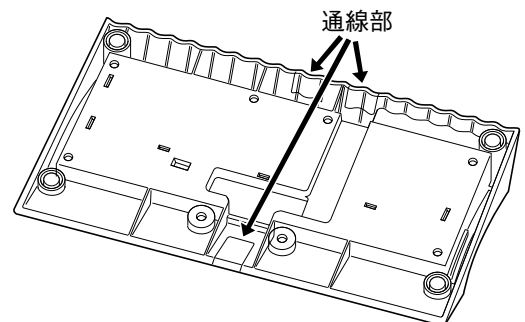


- 2 本体部を台座から外し、線材2本を外す。

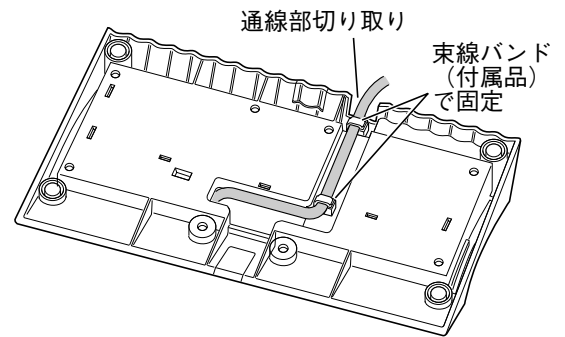
- (1) 線材固定金具を上にあげて、線材を外す。
- (2) 接続コネクタを外す。



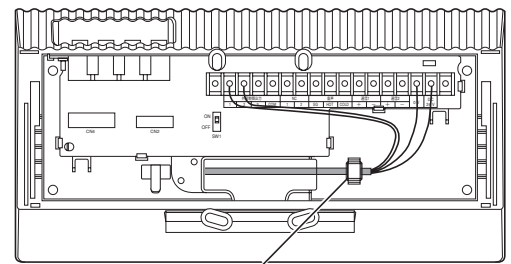
- 3 台座の通線部（3箇所いずれか）を、ニッパーなどで切り取る。



- 4 溝に沿って線材を這わせ、付属の束線バンドで固定する。

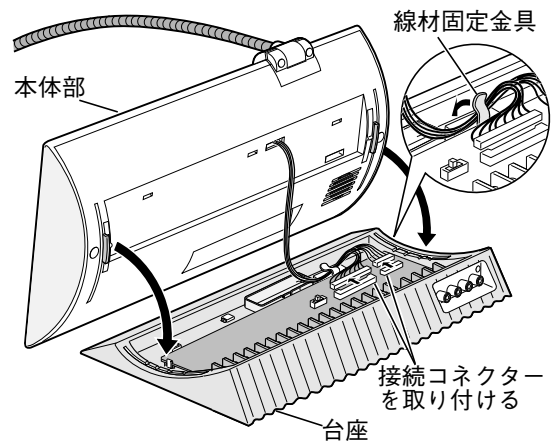


- 5 線材を付属の束線バンドで固定して端子台に結線する。

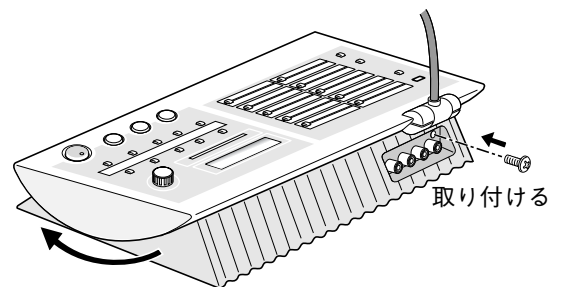


- 6 台座に線材2本を接続し、本体部を取り付ける。

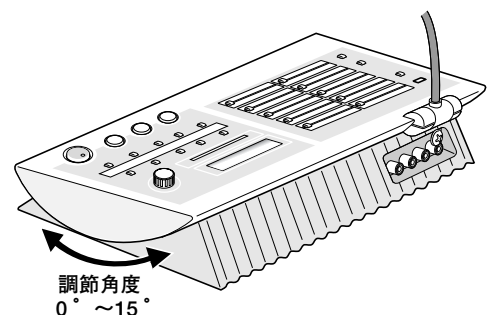
- (1) 本体部の接続コネクタを台座部に接続する。
- (2) 線材固定金具で線材を固定する。
- (3) 本体部の突起部を台座の溝にはめ込む。



- 7 本体部を手順1と反対方向にスライドさせ、本機背面に手順1で外したねじを取り付ける。



- 8 使いやすい角度に調節する。



設置のしかた

壁掛型として使用する場合

本機を壁に取り付けて使用する場合は、以下の手順で設置してください。

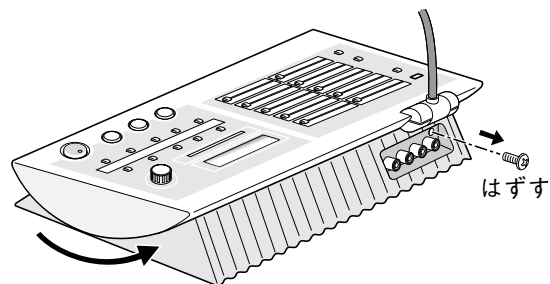


警告

必ず電源を切ってから行ってください。

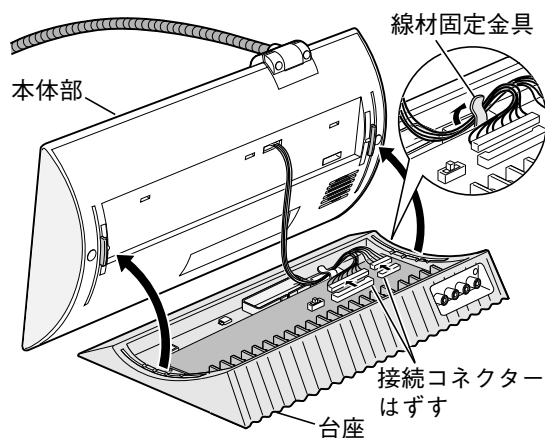
本機に電源を供給する機器（電源制御ユニット、センターユニット）からの電源を遮断した状態で行ってください。電源が入った状態で行うと、感電または機器を破損する原因となります。

- 1 本機背面のねじを外して、本体部を矢印の方向にスライドさせる。



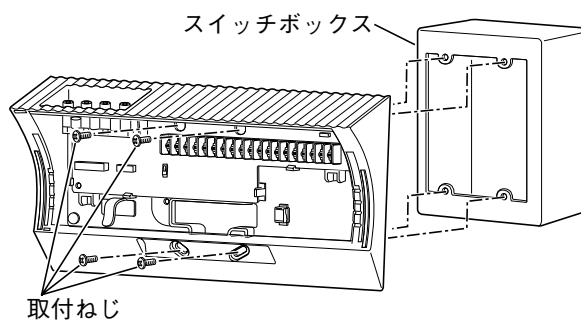
- 2 本体部を台座から外し、線材2本を外す。

- (1) 線材固定金具を上にあげて、線材を外す。
- (2) 接続コネクタを外す。

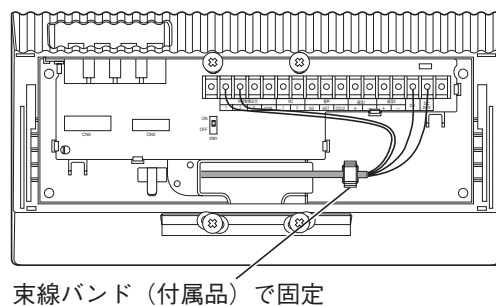


- 3 スイッチボックス（別途調達）などに、付属の取付ねじ4本で取り付ける。

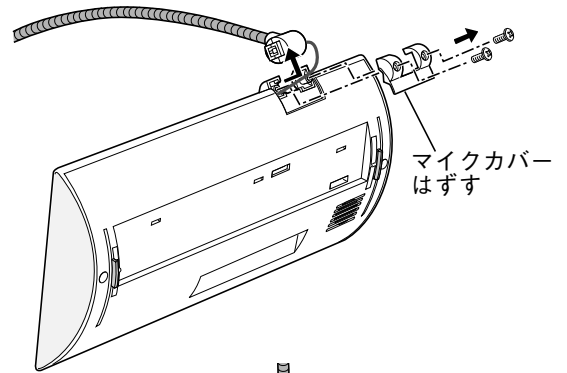
重要 モルタル壁へのねじによる直取付はしないでください。強度不足による落下の原因や、発熱による発火の原因となります。



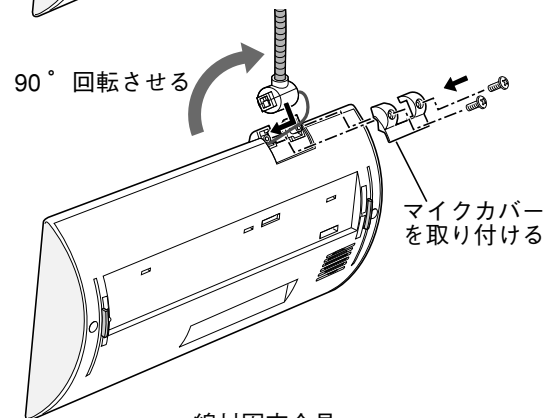
- 4 線材を付属の束線バンドで固定して端子台に結線する。



- 5 本体部底面のねじ2本と、マイクカバーを外す。



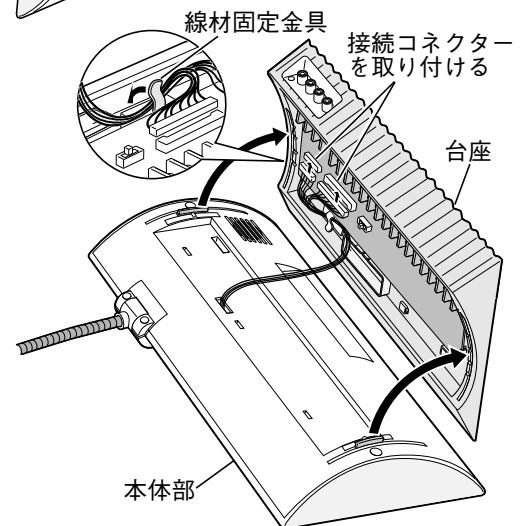
- 6 マイクを90°回転させてマイクカバーを取り付け、ねじ2本で固定する。



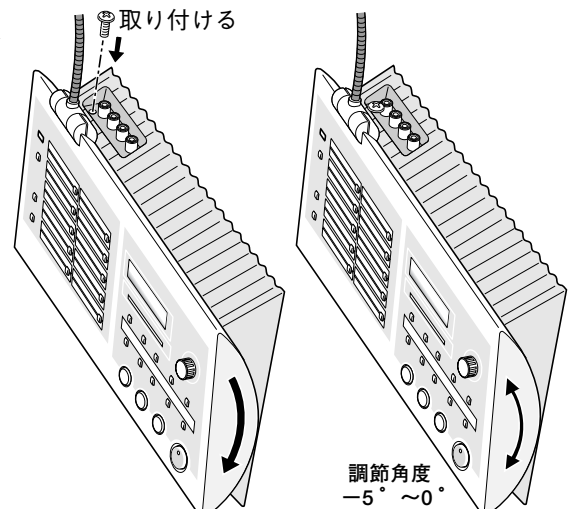
重要 マイク、マイクカバーを取り付ける際は、内部の線材をはさんだり、強く引っぱったりしないでください。線材が破損する原因となります。

- 7 台座に線材2本を接続し、本体部を取り付ける。

- (1) 本体部の接続コネクタを台座部に接続する。
- (2) 線材固定金具で線材を固定する。
- (3) 本体部の突起部を台座の溝にはめ込む。



- 8 本体部を手順1と反対方向にスライドさせ、本機背面に手順1で外したねじを取り付ける。



- 9 使いやすい角度に調節する。

調節角度
-5° ~ 0°

接続のしかた



警告

工事は必ず販売店に依頼してください。

工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にし、本機に電源を供給する電源制御ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示に従ってください。接続する機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

接続ケーブルについて

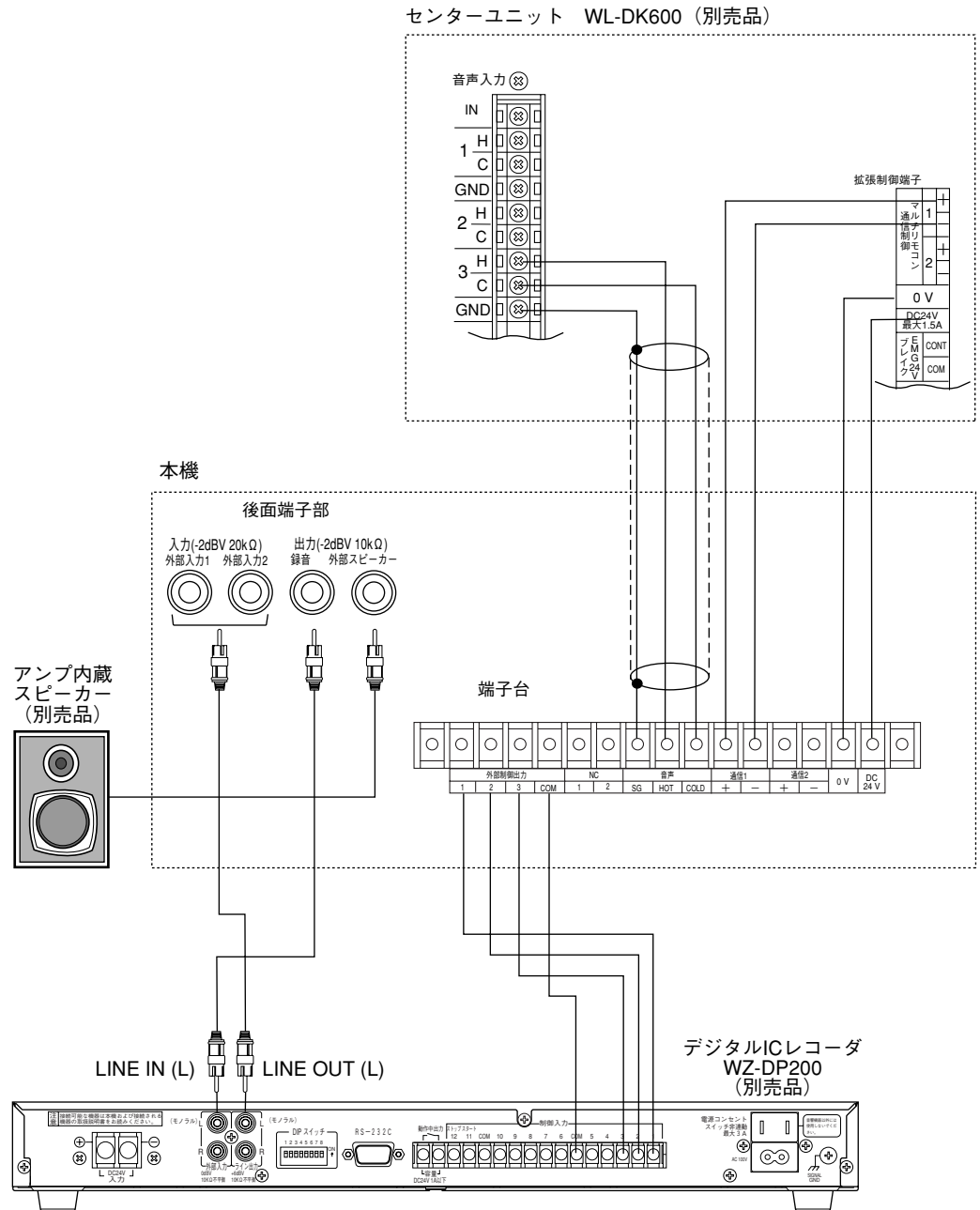
本機は、接続ケーブルを付属していません。下記をご参照の上、接続に必要なケーブルをあらかじめご準備ください。(詳細は⁰³センターユニットの工事説明書)。

系 統	線材種別	本機をセンターユニットに複数台接続するとき
音声	2芯シールド線	本機とセンターユニットの音声入力のうち1系統を、1対1で接続してください。
電源	ツイストペア線 (CPEV)	わたりをとらず、本機とセンターユニットを1対1で接続してください。
通信	ツイストペア線 (CPEV)	わたりをとってください (デジチェーン接続)。
外部制御端子	制御線	—————

接続例

- センターユニットとの接続は、音声接続端子、電源接続端子、通信接続端子 (1,2のいずれか) に、それぞれ対応する端子を接続してください。
- センターユニットから一番遠いマルチリモコンマイクのRS485終端スイッチを「ON」に、他のマルチリモコンマイクのRS485終端スイッチを「OFF」(工場出荷時設定) にしてください。
- 外部接続端子を他機器に接続する場合は、3系統に対してCOM端子は共通で接続してください。
- NC1,NC2には何も接続しないでください。
- 外部スピーカーは、アンプ内蔵タイプを接続してください。

本機と、センターユニット、デジタルICレコーダー、外部スピーカーとの接続例を示します。



デジタルICレコーダー
について

ディップスイッチの設定によって、制御入力端子の機能を変えることができます。
詳しくは、デジタルICレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

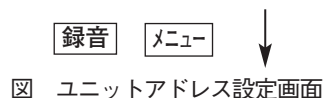
ユニットアドレスについて

本機（最大8台）に独立したユニットアドレスを割り付ける必要があります。

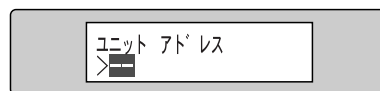
設定のしかた

ユニットアドレスは、1～8の間で重複しないように、必ず1から順に設定してください。

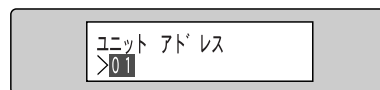
- 1 電源スイッチ「OFF」の状態ですべてのボタンを同時に押しながらか電源スイッチを「ON」にする。右画面が表示されます。



- ▶ ユニットアドレスが設定されていない状態（工場出荷時または設定初期化後）では、電源投入時に、ユニットアドレス設定画面に自動的に移行します。



- 2 選択ダイヤルを回し、ユニットアドレスを選択する。

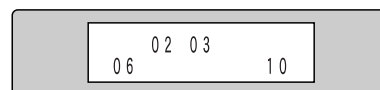


- ▶ 「取消」を押すと、選択前のアドレスに戻ります。



図 エリア選択画面

- 3 「決定」を押して、設定する。
起動画面、起動完了画面表示後に、エリア選択画面が表示されます。
エリア選択画面は、放送エリアが選択されていない場合は、無表示となります。



メンテナンスメニューについて

メンテナンスメニューには、以下の機能があります。

設定項目	概要
ライブラリ録音	センターユニットのメモリー（拡張メモリー、PCカード）に、よく使う音声を録音できます（☞30ページ）。
ライブラリ消去	ライブラリ録音の内容を消去できます（☞32ページ）。
ユニット設定	本機の各種設定ができます（☞33ページ）。
ユニット点検	本機の点検ができます（☞38ページ）。

メンテナンスメニューの表示と消去

メンテナンスメニューを表示するには、4けたのパスワードが必要です。

工場出荷時は、1234に設定されています。センターユニットのパスワードを変えると、本機のパスワードも自動的に同じパスワードに変わります。

- 1 **メニュー** を押し、メインメニューを表示する。
- 2 選択ダイヤルを回し、「メンテナンスメニュー」を表示する。
- 3 **決定** を押す。
メンテナンスメニューが表示されます。
- 4 選択ダイヤルを回し、パスワードを入力する。

ダイヤルを回すと数字が選択されます。ダイヤルを押すと決定し、カーソルが移動します。選択した数字は*に変わります。4つ目の数字を入力すると、メンテナンスメニューが表示されます。上段にメンテナンスメニュー、下段に設定項目が表示されます。

選択ダイヤルを回すたびに、メニューが変わります。

- ↑ 「ライブラリ ロクオン」(☞30ページ参照)
- ↑ 「ライブラリ ショウキョ」(☞32ページ参照)
- ↓ 「ユニット セッテイ」(☞33ページ参照)
- ↓ 「ユニット テンケン」(☞38ページ参照)

- 5 メンテナンスメニューによる操作を終了するときは、エリア選択画面が表示されるまで **取消** を押す。

図 メインメニュー

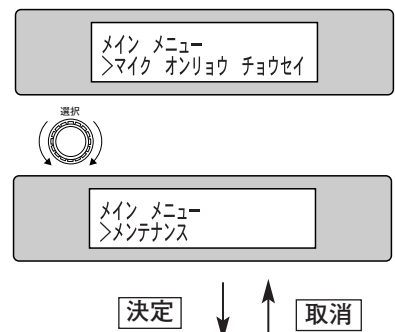
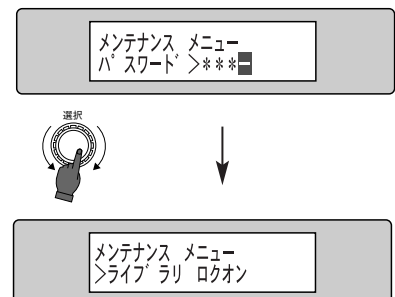


図 メンテナンスメニュー



メンテナンスメニューについて

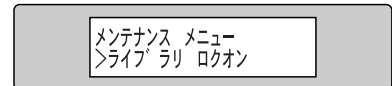
ライブラリ録音のしかた

よく使うアナウンス内容などを、センターユニットの内部メモリーまたはPCカードに記録し、ライブラリ化して保存しておくことができます。

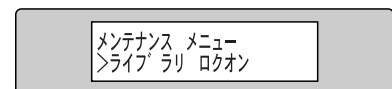
録音時間は、1 MBあたり約 10秒です（メモリー容量により異なります）。

1 メンテナンスメニューを表示する（☞29ページ）。

☒ メンテナンスメニュー



2 選択ダイヤルを回し、「ライブラリ ロクオン」を表示する。



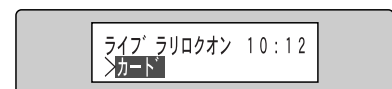
3 **決定** を押す。

ライブラリ録音選択画面が表示されます。

※放送中は、ライブラリ録音選択画面に遷移できません。

決定 ↓ ↑ **取消**

☒ ライブラリ録音選択画面

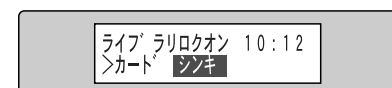


4 選択ダイヤルを押してカーソルを移動し、録音先の保存ファイル（カード/ナイブ）を選択する。



決定 ↓ ↑ **取消**

「シンキ」を選択し、**決定** を押すとファイル名入力状態となります。



5 選択ダイヤルでファイル名を入力する。

ファイル名は8文字までです。



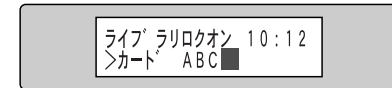
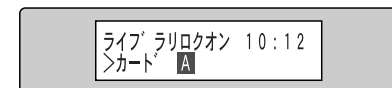
選択ダイヤルを回す毎に下記の文字が順に表示されます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	!	#	\$	%	&	()	+	-	=	@	[]
^	_	{	}	(スペース)											

ダイヤルを押すと、表示した文字が選択され、カーソルが次へ移動します。

ただし、スペースは一文字目には入力できません。

選択した文字を取り消す場合は、**取消** を押すと一文字ずつバックして消去されます。



6 **決定** を押す。
液晶に「ポーズ」と表示され、**録音** が点滅します。約3分間無操作の場合は、ライブラリ録音設定画面に戻ります。

7 再度、**録音** を押して録音を開始する。
録音 が点灯し、液晶には録音の残り時間が表示されます。マイクに向かって、アナウンスを吹き込みます。または、外部音源機器を操作します。

▶ **録音** を押すと、録音準備中画面が表示され、約3秒後に録音が始まります。

▶ **録音時間が超過したとき**
メッセージが表示されます。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、「ポーズ」画面に戻ります。

8 再度、**録音** を押す。
録音 が点滅し、終了処理画面表示後、ライブラリ録音待機画面に戻ります。

9 **取消** を押して録音を終了する。
録音 が消灯し、ライブラリ録音設定画面に戻ります。



図 ライブラリ録音待機画面

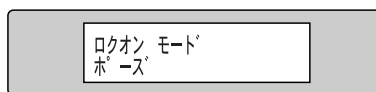


図 録音準備中画面

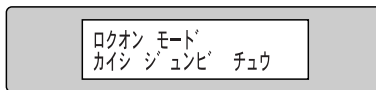


図 録音画面

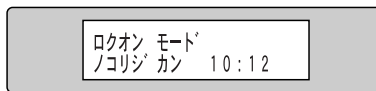


図 録音時間超過メッセージ

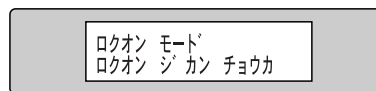
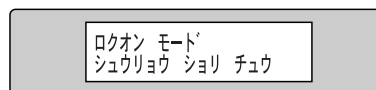


図 終了処理画面



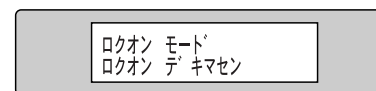
プレビュー再生するとき

ライブラリ録音した内容を本機内蔵スピーカーで確認する場合は、19ページの“プレビュー再生するとき”をご参照ください。

録音できないとき

メッセージ「ロクオン デキマセン」が表示された場合は、図 エラーメッセージ
下記のことが考えられます。**取消** を押すか、約10秒間無操作の場合は、前の画面に戻ります。

図 エラーメッセージ



- センターユニット側か他のマルチリモコンマイクが、「録音中」または「プレビュー再生中」です。時間を空けてから行ってください。
- センターユニット側のメモリーが不足しています。不要なファイルを削除するか、メモリー容量を増やしてください。

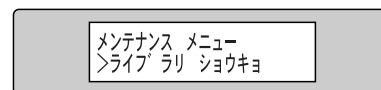
メンテナンスメニューについて

ライブラリ消去のしかた

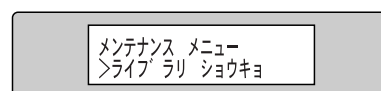
ライブラリの内容を消去できます。

- 1 メンテナンスメニューを表示する (☞29ページ)。

☒ メンテナンスメニュー



- 2 選択ダイヤルを回し、「ライブラリ ショウキョ」を表示する。



- 3 **決定** を押す。

ライブラリ消去確認画面が表示されます。

決定

取消

☒ ライブラリ消去確認画面



- 4 選択ダイヤルを回し、消去するファイル保存先を選択する。

決定 を押してカーソルを移動し、続けて消去する音源ファイルを選択します。



決定

取消

☒ ライブラリ消去確認画面

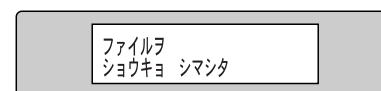


- 5 **決定** を押す。

ライブラリ消去確認画面が表示されます。

決定

☒ 処理終了メッセージ

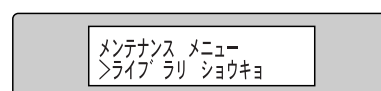


- 6 **決定** を押す。

処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、メンテナンスメニューに戻ります。

(約2秒後に遷移)

☒ メンテナンスメニュー



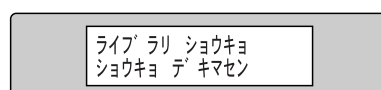
▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。

▶ **取消** を押すと、メンテナンスメニューに戻ります。

消去できないとき

放送中にこの操作を行った場合などは、メッセージ「ショウキョ デキマセン」が表示され、消去できません。
取消 を押すか、約10秒間無操作の場合は、メンテナンスメニューに戻ります。

☒ エラーメッセージ



ユニット設定

ユニット設定で、下表の項目を設定できます。

設定項目	概要	工場出荷時設定
コールサイン音量設定	コールサインの音量を調節できます。放送しながら、調節できます (☞34ページ)。	音量バー4点灯
BGM音量設定	本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGM音量を調節できます。放送しながら、調節できます (☞34ページ)。	音量バー4点灯
モニター音量設定	放送先の放送状態モニター音量を調節できます。放送しながら、調節できます (☞35ページ)。	音量バー4点灯
BGMミュート音量設定	本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGMミュート音量を設定できます (☞35ページ)。	-10 dB
BGMフェード時間設定	本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGMフェード時間を設定できます。マイクの「ON/OFF」により、自動的にBGMをフェードアウト/フェードインさせます (☞36ページ)。	1秒
液晶 (LCD) バックライト	液晶のバックライトを使用する環境に合わせて切り換えることができます (☞36ページ)。	ON
設定初期化	本機的全設定を工場出荷状態に戻します (☞37ページ)。	イイエ

ユニット設定メニューの表示と消去

ユニット設定はユニット設定メニューから入ります。

1 メンテナンスメニューを表示する (☞29ページ)。

2 選択ダイヤルを回し、「ユニット セッテイ」を表示する。

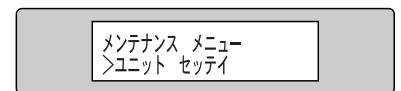
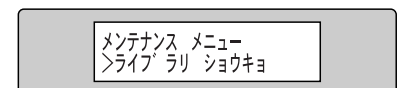
3 **決定** を押す。

ユニット設定メニューが表示されます。上段にユニット設定メニュー、下段に設定項目が表示されます。

選択ダイヤルを回すたびに、メニューが変わります。

- ↑ 「コールサイン オンリョウ」 (☞34ページ)
- ↑ 「BGM オンリョウ」 (☞34ページ)
- ↑ 「モニター オンリョウ」 (☞35ページ)
- ↑ 「BGM ミュート」 (☞35ページ)
- ↑ 「BGM フェード シカン」 (☞36ページ)
- ↑ 「LCD バックライト」 (☞36ページ)
- ↓ 「セッテイ ショキカ」 (☞37ページ)

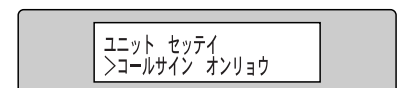
☒ メンテナンスメニュー



決定

取消

☒ ユニット設定メニュー



4 ユニット設定メニューによる操作を終了するとき
は、エリア選択画面が表示されるまで**取消**を押す。

ユニット設定

コールサイン音量の設定

コールサインの音量を調節できます。放送しながら調節できます。

音量バー 0~10点灯表示 (工場出荷時設定：音量バー 4点灯)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「コールサイン オンリョウ」を表示する (☞33ページ)。
 - 2 **決定** を押す。
コールサイン音量設定画面が表示されます。
 - 3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。
 - 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー



図 コールサイン音量設定画面

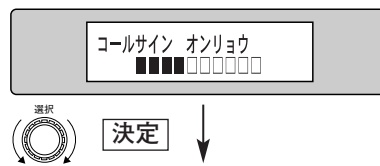


図 処理終了メッセージ

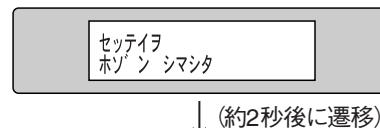
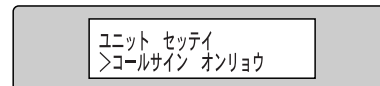


図 ユニット設定メニュー



BGM音量の設定

本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGM音量を調節できます。放送しながら、調節できます。 音量バー 0~10点灯表示 (工場出荷時設定：音量バー 4点灯)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGM オンリョウ」を表示する (☞33ページ)。
 - 2 **決定** を押す。
BGM音量設定画面が表示されます。
▶ マイクボタン点灯中は「BGM OFFチュウ チョウセイデキマセン」と表示され、設定できません。**取消** を押すと、ユニット設定メニューに戻ります。
 - 3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。
 - 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー



図 BGM音量設定画面

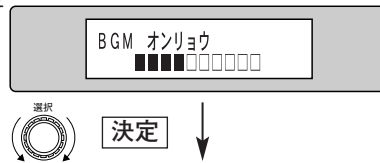
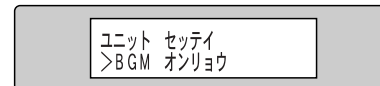


図 処理終了メッセージ



図 ユニット設定メニュー



放送状態モニター音量の設定

放送先の放送状態モニター音量を調節できます。放送しながら、調節できます。

音量バー 0~10点灯表示 (工場出荷時設定：音量バー 4点灯)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「モニター オンリヨウ」を表示する (☞33ページ)。
 - 2 **決定** を押す。
モニター音量設定画面が表示されます。
 - 3 選択ダイヤルを回し、音量を調節する。
右へ回すと音量が大きくなり、左へ回すと音量が小さくなります。■が多いほど音量の設定が大きくなります。
 - 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー



図 モニター音量設定画面

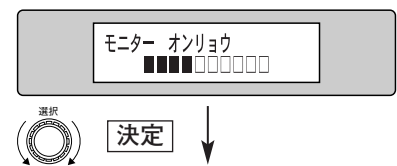
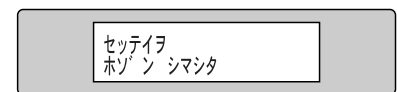
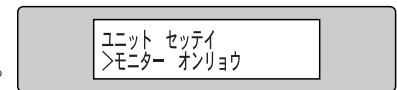


図 処理終了メッセージ



(約2秒後に遷移)

図 ユニット設定メニュー



BGM ミュート音量の設定

本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGMミュート音量を設定できます。

0 / -10 / -40 (dB) (工場出荷時設定：-10 dB)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGM ミュート」を表示する (☞33ページ)。
 - 2 **決定** を押す。
BGMミュート音量設定画面が表示されます。
 - 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい数値にカーソルを移動させます。
 - 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニット設定メニューに戻ります。
- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。音量を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー

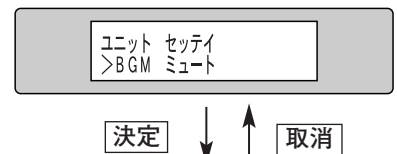


図 BGMミュート音量設定画面

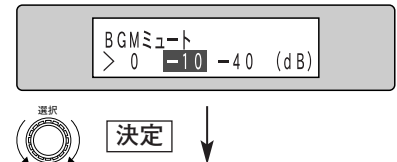
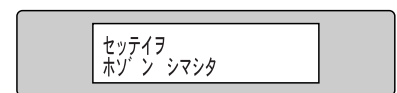
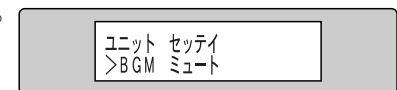


図 処理終了メッセージ



(約2秒後に遷移)

図 ユニット設定メニュー



ユニット設定

BGMフェード時間の設定

本機の外部制御出力接続端子に接続されたBGM機器のBGMフェード時間を設定できます。マイクの「ON/OFF」により、自動的にBGMをフェードアウト/フェードインさせます。

設定時間：1/2/4（秒）（工場出荷時設定：1秒）

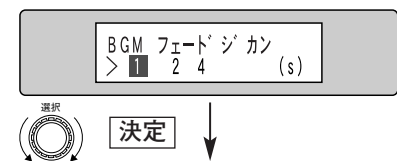
- 1 ユニット設定メニューを表示し、「BGM フェード ジカン」を表示する（☞33ページ）。

図 ユニット設定メニュー



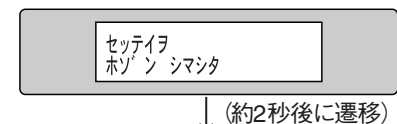
- 2 **決定** を押す。
BGMフェード時間設定画面が表示されます。

図 BGMフェード時間設定画面



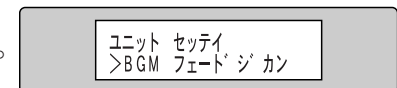
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい数値にカーソルを移動させます。

図 処理終了メッセージ



- 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、ユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー



- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。設定を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

液晶（LCD）バックライトの設定

液晶のバックライトを使用する環境に合わせて切り換えることができます。

AUTOにすると、本機のボタンを約1分操作しないと、自動的にバックライトが消灯します。

ON/AUTO（工場出荷時設定：ON）

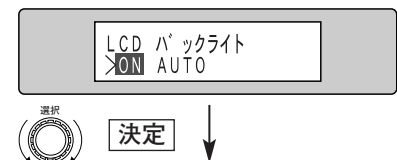
- 1 ユニット設定メニューを表示し、「LCD バックライト」を表示する（☞33ページ）。

図 ユニット設定メニュー



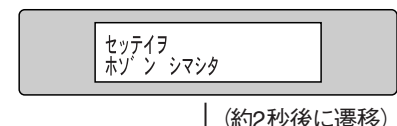
- 2 **決定** を押す。
LCDバックライト設定画面が表示されます。

図 LCDバックライト設定画面



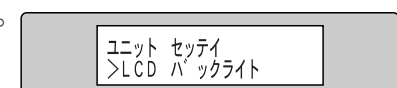
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
選択したい項目にカーソルを移動させます。

図 処理終了メッセージ



- 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示（約2秒間）され、ユニット設定メニューに戻ります。

図 ユニット設定メニュー



- ▶ **決定** を押さないと、設定した内容に変更されません。設定を変更しないときは、そのままユニット設定メニューに戻ります。

設定の初期化

本機的全設定を工場出荷状態に戻します。

ハイ/イエ (工場出荷時設定: イイエ)

- 1 ユニット設定メニューを表示し、「セッテイ ショキカ」を表示する (☞33ページ)。
- 2 **決定** を押す。
設定初期化画面が表示されます。
- 3 選択ダイヤルを回して、設定する。
「ハイ」にカーソルを移動させます。
- 4 **決定** を押す。
処理終了メッセージが表示 (約2秒間) され、ユニットアドレス設定画面に戻ります。
 - ▶ 「ハイ」を選択しても**決定**を押さないと、設定初期化されません。
 - ▶ ユニットアドレスの設定 (☞28ページ)。

図 ユニット設定メニュー

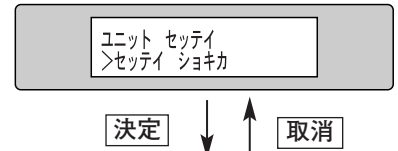


図 設定初期化画面

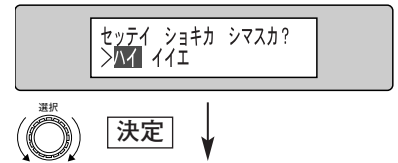


図 処理終了メッセージ

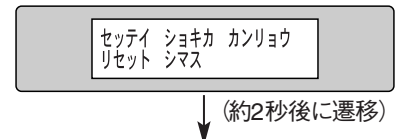
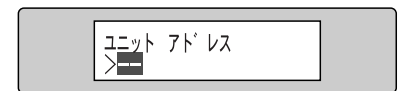


図 ユニットアドレス設定画面



ユニット点検

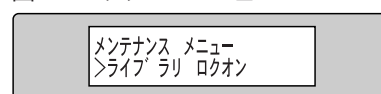
ユニット点検で次の項目を点検できます。

設定項目	概要
電源電圧チェック	本機に供給されている電源の電圧を確認できます。
バージョン番号表示	本機ソフトウェアのバージョンを表示します。

電源電圧のチェック

- 1 メンテナンスメニューを表示する (☞29ページ)。
- 2 選択ダイヤルを回し、「ユニット テンケン」を表示する。
- 3 **決定** を押す。
電源電圧チェック画面が表示されます。
- 4 **決定** を押す。
電源電圧のチェック結果が表示されます。±1 V程度の誤差がありますので、目安としてお使いください。
- 5 **決定** または **取消** を押す。
電源電圧チェック画面に戻ります。

☒ メンテナンスメニュー



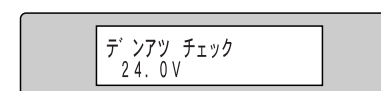
☒ ユニット点検画面



☒ 電源電圧チェック画面



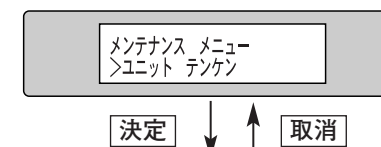
☒ 電源電圧チェック結果画面



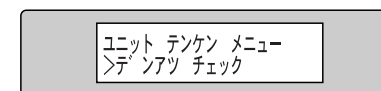
バージョン番号の表示

- 1 「ユニット テンケン」を表示する (☞上記手順1,2,3)。
- 2 選択ダイヤルを回し、「V*. ** R**」を表示する。
*. **の部分に、本機ソフトウェアのバージョンが表示されます。
- 3 **取消** を押す。
メンテナンスメニュー画面に戻ります。

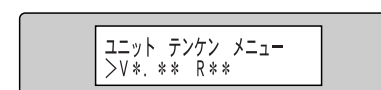
☒ ユニット点検画面



☒ 電源電圧チェック画面



☒ バージョン表示画面



センターユニット側での設定

設定の必要な項目

本機の以下の機能については、センターユニット側で設定を行います。センターユニットに付属の設定説明書をお読みください。

機能ボタンの設定

機能ボタン **F1**～**F5** には、各種機能を割り付けることができます。

設定できる機能は下記の通りです。同種の機能を複数割り付けることもできます。

例：**F1**と**F2**にそれぞれ別のライブラリ音源再生機能を割り付ける。など

音量パターン起動	あらかじめ設定しておいたセンターユニットの各音声出力の音量パターンを起動できます。各音声出力に対して-5～+5/フルミュートのいずれかを選択できます。一時的に放送出力を変えたい場合に便利です。
制御出力パターン起動	あらかじめ設定しておいたセンターユニットの出力制御パターンを起動できます。各制御出力に対してON/OFF/無制御のいずれかを選択できます。センターユニットに接続された音源機器を起動する際などに便利です。
強制放送機能	この機能をONにすると、本機の優先順位を一時的に最上位にすることができます。ただし、センターユニットの緊急一斉放送、緊急外部放送は、本機能よりも優先されます。
リモコンモニター機能	この機能をONにすると、放送エリア切換ボタンで現在選択している放送エリアの放送音声を、本機の内蔵スピーカーで聞くことができます。 <ul style="list-style-type: none">● 外部スピーカー出力端子にも出力されます。● 選択されている全エリアの放送内容がミックスされて聞こえます。 ※あらかじめセンターユニット側で、音声出力チャンネル3をリモコンモニター機能専用確保しておく必要があります。
外部制御出力機能	本機の外部制御出力をONにすることができます。機能ボタン1個に対して、本機の外部制御出力1～3のひとつに割り付けることができます。出力信号は、メイク・パルスのいずれにも設定可能です。
ライブラリ音源再生機能	センターユニットに保存されているライブラリ音源を起動することができます。
リピート再生機能	リピート再生機能をONにすることができます。リピート再生機能は、機能ボタンにこの機能を割り付けて、この機能をONにしないと動作しません。

センターユニット側での設定

その他機能の設定

全マルチリモコンマイクに共通の機能

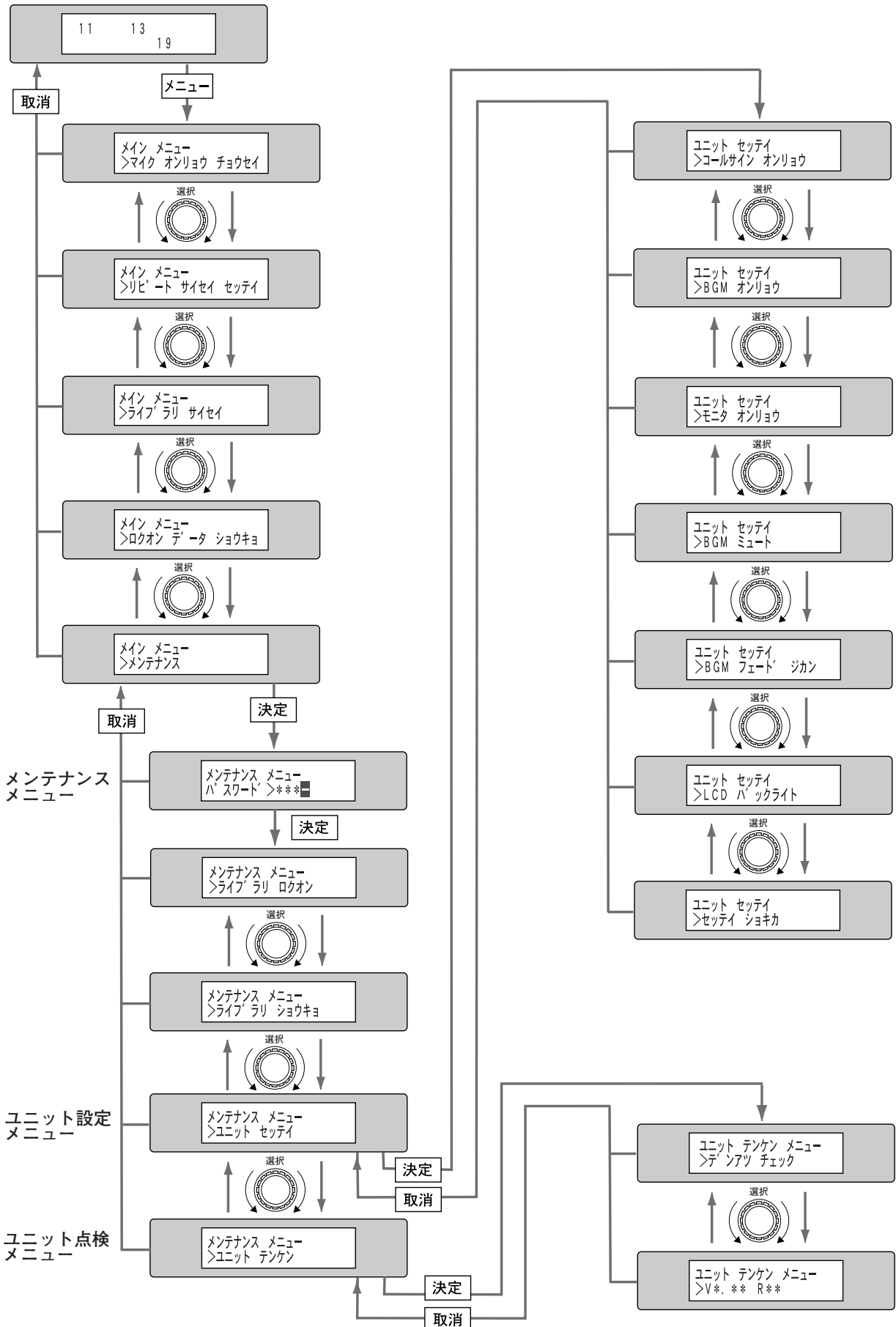
放送オートOFF	本機から放送を開始して一定時間経過すると、自動的に放送を終了させることができます（放送切り忘れ防止機能）。 機能OFF、1分～10分の中から設定できます（初期設定：OFF）。
モニターレベル設定	リモコンモニターの初期音量を設定できます。
放送ボタンロック/プレス切換	プレスにすると、放送ボタンを押している間だけ放送することができます（初期設定：ロック）。
マイクボタンロック/プレス切換	プレスにすると、マイクボタンを押している間だけマイクをONにすることができます（初期設定：ロック）。

マルチリモコンマイクごとに設定できる機能

優先順位	本機を含む複数の音源機器間で、放送先が競合したときの優先順位を設定します。本機を複数台同じ順位に設定することもできます。1～99の範囲で設定します（初期設定：5）。
優先同順位割り込み許可	優先同順位の音源機器が後から割り込んで放送先が競合した場合に、相手に放送を譲るかどうかを設定します。ONの場合は、許可します（初期設定：ON）。
コールサイン自動起動	放送ボタンを押したときに、自動的にコールサインを起動させることができます（初期設定：ON）。
放送開始遅延時間	放送ボタンを押してから、実際に放送が開始されるまでの遅延時間を設定できます。アンプ起動に時間がかかり、放送ボタンを押してから放送するまでに時間を設けたい場合などに使用します。0～5秒の範囲で0.2秒単位で設定できます（初期設定：0.2秒）。
フェード処理	本機が放送を開始するときに、本機からの放送のフェード処理を行うかどうかを設定できます（初期設定：OFF）。
クイックスタート	本機が放送を開始するときに、それまで放送されている内容をフェードアウトさせずにOFFする機能です。緊急放送が想定されるマルチリモコンマイクで使用します（初期設定：OFF）。
ミキシング	本機が放送するときに、すでに放送しているBGMなどとミキシングして放送できます（初期設定：OFF）。
エリア欠落放送の許可	ONにすると、本機で選択しているエリアの一部に、より優先順位の高い放送が行われている場合、そのエリア以外の他のエリアに放送を行うことができます（初期設定：ON）。
自動復帰	本機で放送中のエリアで、より優先順位の高い放送が行われると、本機からの放送はそのエリアでは一度中断されます。その状態から優先順位の高い放送が終了した時点で、本機からの放送を自動的に復帰させるかどうかを設定できます（初期設定：ON）。
コールサイン選択	本機のコールサインボタンを押したときに、本機内蔵コールサインと、センターユニット内蔵のコールサインのどちらを起動させるかを選択できます。オリジナルコールサインの場合は、センターユニットの内蔵メモリーに書き込んでおき、この機能でセンターユニット内蔵コールサインの設定にしてください（初期設定：本機内蔵コールサイン）。
外部出力	本機の外部制御出力1～3それぞれについて、ON状態の極性、メイクパルスの選択と設定ができます。外部制御出力は、前ページの機能ボタンに割り付けて使用します。

メニュー遷移図

エリア選択画面



工事説明

付録・仕様

設定用紙

機能ボタン設定表

機能ボタンに関する設定内容を記入してください。1つのボタンに複数の機能を割り当てることはできません。

F1

F2

F3

F4

F5

仕様

●基本仕様

電源	DC24 V、250 mA
使用温度範囲	0°C ~ +45°C
寸法	幅 280 mm 高さ 80 mm 奥行き 150 mm (突起部含まず)
質量	約 1 kg
仕上げ	本体部：OAアイボリー樹脂色（樹脂成形） マンセル5.5Y7.5/0.3近似色 台座部：グレー樹脂色 マンセルN3.5近似色 操作部：ポリカーボネイトシート (t=0.5)

●音声入力

マイクロホン	ECM内蔵 350 mm フレキシブルマイクロホン 定格出力：-2 dBV/94 dB SPL
外部音声入力	ピンジャック2系統（内部でモノラルミックス）、不平衡 入力感度：-2 dBV、入力インピーダンス：20 kΩ、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz
モニター音声入力	ねじ端子3極、1系統、電子バランス（端子は放送出力端子と兼用） 入力感度：-2 dBV、入力インピーダンス：20 kΩ、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz

●音声出力

放送出力	ねじ端子3極、1系統、電子バランス（端子はモニター音声入力端子と兼用） 出力レベル：-2 dBV、適合負荷インピーダンス：600 Ω以上、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz
録音出力	ピンジャック1系統（モノラル）、不平衡 出力レベル：-2 dBV、適合負荷インピーダンス：10 kΩ以上、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz
外部スピーカー出力	ピンジャック1系統（モノラル）、不平衡 出力レベル：-2 dBV、適合負荷インピーダンス：10 kΩ以上、 周波数範囲：50 Hz~20 000 Hz

●外部制御出力

方式	3回路、フォトカプラによるオープンコレクタ出力
制御電圧	35 V
制御電流	15 mA

●通信

通信方式	RS-485 1系統、半2重方式
最大接続数	8台（デジチェーン接続）
同期方式	調歩同期方式
データ転送速度	9 600 bps

●その他

コールサイン	2種（上り4音、下り4音）
モニター用スピーカー	内蔵
出力レベル表示	9点レベルメーター
表示素子	液晶表示 16文字×2行
機能ボタン	5個（F1 ~ F5、センターユニットで機能を割り当てることにより使用可能）
角度調節	本体部：-5° ~ 15°、5°ステップ、マイク部：0° または90°
設置	壁取付時は台座を壁に取付可能。対応する電工ボックス：JIS 2連型

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このマルチリモコンマイクの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WR-600
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410